

2015 前期 LS (本)

受験番号

2015 年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

専門論文試験 憲法・民法・刑法

(180分)

受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は3ページである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は憲法、民法、刑法各1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 答えは、横書きとする。
5. 答えは、実線内の番号に従って書き進めること。
6. 答えは、黒ボールペンまたは黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答えは、無効となる。
7. 答えを訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
8. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
9. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

専門論文試験 憲法

【第1問】

以下の〔事例〕を読んで、〔設問1〕～〔設問3〕に答えなさい。

〔事例〕

あるテロリスト集団の構成員であるXは、拘置所に未決勾留者として勾留、収容されていた。拘置所内では、私費により新聞の購読が可能であったため、Xは、A新聞を私費で定期購読していた。

20××年3月31日、Xの属するテロリスト集団による航空機乗っ取り事件が発生し、拘置所長は同日夕刊から4月2日朝刊まで、乗っ取り事件に関する記事を墨でぬりつぶして配付した（以下、「本件行為」という）。

これに対して、Xは、国に対して損害賠償請求を行うことを考えている。

〔設問1〕

本件行為は、憲法21条2項の禁止する「検閲」に該当するであろうか。判例に照らして、答えなさい。

〔設問2〕

Xの訴訟代理人であるとするれば、本件行為は、どのような憲法上の権利を侵害していると主張することが考えられるか。その権利がなぜ憲法上保障されるのかと併せて論じなさい。

〔設問3〕

本件行為の合憲性について、あなたの考えを論じなさい。

【第2問】

議院内閣制と大統領制との違いについて、簡潔に説明しなさい。

専門論文試験 民法

【問題】

以下の事例を読んで、〔設問〕に答えなさい。

〔事例〕

Xは、平成元年3月1日、Aとの間で、Aの所有する甲土地を代金3000万円で買い受ける契約を締結して、甲土地の引渡しを受けた。しかし、この売買契約は無効であった。Xは、甲土地を平成元年3月1日から今日まで占有している。他方、Aは、平成18年8月10日、Yに対し、甲土地を代金4000万円で売り渡し、所有権移転登記手続も行った。Xは、Yに対し、平成26年8月1日、甲土地を時効取得したことを理由に所有権移転登記手続をするように求めて訴訟を提起した。

〔設問〕

- 1 Xは、Yに対し、どのような取得時効の主張が可能かについて二つ述べよ。
- 2 上記各取得時効の主張を行うに当たって、それぞれの取得時効の完成要件は何かを法律上の条文の根拠を示しながら述べよ。また、取得時効の主張のために、Xが主張、立証すべき要件は何か、Yが主張、立証すべき要件は何かを法律上の条文の根拠を示しながら述べよ。
- 3 Yは、上記2で主張立証しなければならない要件のほかに、Xの取得時効の主張に関してどのような反論が可能か。

専門論文試験 刑法

【問題】

以下の〔事例〕を読んで、甲と乙の罪責について論じなさい。

〔事例〕

甲（男性、25 歳）は、日頃から自分をいじめている会社の先輩 A（男性、28 歳）に対して仕返しをしようと考え、親友の同僚乙（男性、24 歳）に、「A を公園に呼び出して、2 人で殴ろう。」と持ち掛けたところ、A のことを嫌っていた乙も甲の提案に賛成し、一緒に A を殴ることを承諾した。

事件当日午後 9 時頃、甲と乙は、計画どおり公園で落ちあい、乙が A に電話を掛けて「話があるから」と公園に呼び出した。

甲が、公園に現れた A に対し、その顔面をいきなり手拳で一発殴ったところ、A は、転倒し、後頭部を木製ベンチの角にぶつけ、頭から血を流してそのまま動かなくなった。甲と乙は、脳しんとうを起こして気絶していただいだけの A を見て、死んでしまったと思い込み、A の携帯電話に乙から呼び出しを受けた通話履歴が残っていることから、自分たちが犯人であることが容易にバレると思い、乙が、甲に対し、「物取りの犯行に見せかけよう。」と言って A の財布をポケットから抜き取った。その際、甲はその財布を川に捨てるつもりであったが、乙は現金を抜き取るつもりでいた。

甲と乙は、A が倒れているところから 20 メートルほど離れている公園の入り口まで来たとき、通行人とすれ違ったので、慌てて走り出し、そのときに乙は上記 A の財布を手落とししてしまった。

以上